



低炭素社会についての勉強会を行いました！

■低炭素社会とは？

経済発展を妨げずに、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスの排出を大幅に削減した社会をいいます。具体的には、再生可能エネルギーの導入や更なる省エネルギーの実践、低炭素なまちづくり、循環型社会の構築など、さまざまな方策が考えられます。

資料：「低炭素社会に向けた12の方策」
(環境省 チームマイナス6%より)

■第2回プログラム

日時：平成27年5月22日(金)

15:00~17:15

場所：裾野市役所 401 会議室

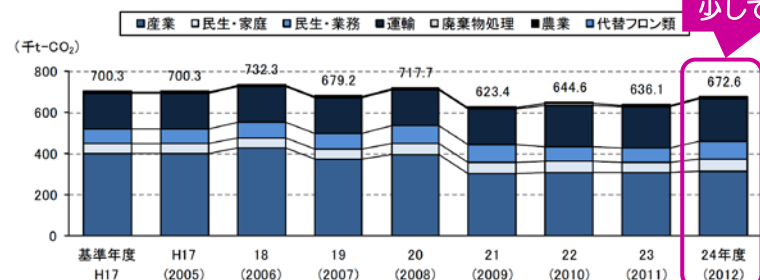
- 1 開会
- 2 部長あいさつ
- 3 低炭素社会についての講演
「エネルギー政策の現状と動向」
経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部 地域エネルギー振興企画官 高橋 一夫氏
- 4 裾野市の温室効果ガス排出量について
- 5 ワークショップ
(1)ワークショップの進め方説明
(2)役割分担
(3)低炭素社会の実現に向けた取り組みについて
(4)グループ発表
- 6 ふりかえりアンケート記入
- 7 閉会



低炭素社会についての講演

【当日のテーマ】

- ①日本のエネルギーの特徴と東日本震災以降の情勢の変化
- ②国のエネルギー政策の基本的な考え方
- ③省エネルギーについて
- ④再生可能エネルギーの導入
- ⑤スマートコミュニティの実現に向けて



H17と比べてH24は4%減少しています

■裾野市環境市民会議スケジュール

回	開催日時	会議の内容
第1回	平成27年4月21日	● 環境基本計画の基本的事項、裾野市の環境の現状の説明 ● 環境課題の検討
第2回	平成27年5月22日	● 低炭素社会についての講演【低炭素社会についての勉強会①】 ● 温室効果ガス排出量等の現状の説明 ● 低炭素社会についての検討
第3回	平成27年6月8日	● 将来イメージ、望ましい環境像の検討
第4回	平成27年6月26日	● 低炭素社会についての講演【低炭素社会についての勉強会②】 (事業者の取り組み紹介) ● 取り組みの検討
第5回	平成27年7月10日	● 行政提案・重点プロジェクト(案)の説明 ● 重点プロジェクトの検討
第6回	平成27年9月4日	● 重点プロジェクトの検討
第7回	平成27年9月28日	● 重点プロジェクトの検討 ● 最終発表

■ワークショップ(グループ協議)

A、B、Cの3グループに分かれて議論を行いました。低炭素社会を実現するため、「家庭」「事業所」「市役所・公共施設・学校」「交通・公園・まち」「森林・農地・河川」などの場所ごとに、どんな取り組みを行うべきか意見を出し合いました。裾野市の地域特性を生かした、ユニークな取り組みがたくさん挙がりました。



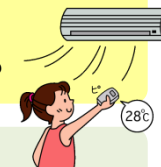
【家庭】

- 省エネ家電に買い替える
- こまめに電源を切るなど、電気の無駄使いを減らす
- CO₂を可視化する
- 風光を取り込むなど自然を生かした工夫をする
- プラグインハイブリッド自動車に蓄電する
- 太陽光発電を設置する
- ごみの量を減らす



【市役所・公共施設・学校】

- 電気使用の効率な設備設置に対する補助をする
- すぐにできる省エネ講座を実施する
- 雨水タンクを設置・補助する
- グリーン製品を購入する
- 子どもからの環境教育・啓発を充実する



【事業所】

- 高効率な設備へ切り替える
- 24時間営業を止める・見直す・効率化する
- 屋上緑化・緑のカーテンを設置する
- 自動車を効率よく使う
- 会社の車をエコカーに変更する
- さまざまな再生可能エネルギーを活用する

【交通・公園・まち・森林・農地・河川】

- 電気自動車を普及させる
- ソーラーLED街灯を導入する
- 道路の構造を交通がスムーズに流れるシステムを導入する
- 市特産である芝を色々な場所に植えて、冷房効率をあげる
- 緑地帯・並木を増やす



3分という短い時間内に、うまくまとめて発表していただきました。

「事前検討シート」の活用で当日の検討がより効率的かつ深みが出ました。

「すそのブランド」に認定の「すそのまんじゅう」をみんなで試食。おいしいと好評でした。



生地に桃園の不二農園で栽培している幻の国産紅茶「ただにしき」が練り込まれています。

■ふりかえり

会議の最後に、今回の感想などを「ふりかえりアンケート」(一部抜粋を以下に紹介)に記入していただきました。

- 事前検討シートがあったため、検討することを事前に勉強することができて理解が進み、とても楽しかった。
- 低炭素社会についての講演会は話がまとまっており、分かりやすかった。
- 温室効果ガスの排出量について聞かせていただいて、よく理解することができました。
- 家庭でできること、事業所でできることなどを真剣に考えた。
- 意見はたくさん出るが、まとめるのに話し合う時間が少ないので、時間を増やすよう改良してもらいたい。
- 全て再認識させてもらいました。

